

ナビゲーションシート

小・中学校、高等学校用

I. インクルーシブ教育システムの構築状況

	できている	どちらとも言えない	できていない	重点的に取り組む必要がある
観点1 体制整備				
(1-1) 校内の支援に係る体制整備				
(1-2) 周囲の児童生徒及び保護者の理解推進				
(1-3) 地域への理解・啓発				
(1-4) 管理職のリーダーシップに基づく学校経営				
観点2 施設・設備				
(2-1) バリアフリー施設・設備の整備				
(2-2) 合理的配慮の提供に関する施設・設備の整備				
(2-3) 教育支援機器の整備				
(2-4) 教室配置及び既存の教室の活用				
観点3 教育課程				
(3-1) 特別の教育課程の編成				
(3-2) 特別の教育課程の実施				
観点4 指導体制				
(4-1) 指導体制の整備・充実				
(4-2) 地域の関係機関の連携				
(4-3) 児童生徒及び保護者の理解推進				
観点5 交流及び共同学習				
(5-1) 交流及び共同学習の実施のための具体的な取組				
(5-2) 障害のある人との交流と理解・啓発				
観点6 移行支援				
(6-1) 就学支援システムづくり				
(6-2) 就労支援システムづくり				
観点7 研修				
(7-1) 校内における専門性の向上のための取組				
(7-2) 校内における研修の実施				
(7-3) 校外研修を活用した理解・専門性の向上				

II. インクルーシブ教育システム構築の推進に向けた重点的取組の方策案

優先順位	観点番号	方策案の概要（できるだけ具体的に記載してください）
例	4	通常の学級に在籍する障害のある生徒について、保護者や関係機関との協働により個別の教育支援計画を作成することを通して指導体制の充実を図る。
1		
2		
3		